



～世界基準の安心安全都市を目指して～

「セーフコミュニティ」

国際認証取得!!

平成24年度から、本市が取り組みを進めてきたセーフコミュニティ。この度、本市の取り組みが世界基準のレベルに達していると認められ、60万人規模の中核都市としては初めて、セーフコミュニティ国際認証を取得しました。

【安心安全課 216・1209(FAX) 226・0748】

1月29日(金)、合意書に署名し、国際認証を正式に取得しました。授与された認証旗と盾を持つ森市長や認証審査員、セーフコミュニティ関係者ら(上)と署名した合意書(左)

セーフコミュニティ国際認証取得までの歩み

平成25年	1月	森市長による認証取得の取組宣言
	5～8月	7つの分野別対策委員会を設置 モデル地区などを決定(DV防止、自殺予防分野を除く)
	6月	鹿児島県警察本部がセーフコミュニティ支援推進委員会を設置
平成26年	10月	事前指導を実施
平成27年	7月	認証申請書を提出
	9・10月	現地審査を実施
平成28年	1月	認証取得



現地審査
(審査員講評)

そもそも「セーフコミュニティ」って?

「セーフコミュニティ」とは、世界保健機関(WHO)が推奨する活動で、地域住民、関係団体、行政が一緒になって、皆さんの身近に起こっている事故やけがを予防する取り組みのことで

本市は、さらに事故やけがの減少を図り、地域の安全性を高め、市民が生涯にわたって安心して暮らせる安全なまちづくりを推進するため、セーフコミュニティの認証取得を目指しました。

本市の認証取得は、世界で366番目、日本で12番目、人口60万人規模の中核都市としては国内初となります。

鹿児島市の重点7分野の取り組み

交通安全



- 【目標】
- 高齢者の交通事故減少
 - 子どもの交通事故減少
 - 自動車による交通事故減少

高齢者の安全



- 【目標】
- 高齢者の転倒による外傷の減少
 - 虐待や認知症理への啓発・理解の促進

鹿児島市の取り組みは?

本市の事故やけがの原因を調査・分析した結果、本市の事故やけがの現状が見えてきました。

これらから、重点的に取り組みを行う7つの分野にそれぞれ対策委員会のほか、モデル地区を設置して、地域住民などとの協働による取り組みを進めています。

学校の安全

- 市立小中学校の校内等でのけがの減少

子どもの安全

- 家庭内等での事故・けがの減少など

DV防止

- 若年者に対する予防啓発の充実など

自殺予防

- 中高年(50～69歳)の自殺者数の減少

防災・災害対策

- 桜島地区における避難体制の再構築

学校の安全

セーフコミュニティは、認証取得後も、5年ごとに再認証の審査が予定されています。



学校での集会活動の様子

認証取得した後の展開は?

セーフコミュニティは、認証取得後も、5年ごとに再認証の審査が予定されています。

今後は、これまでのモデル地区などでの取り組みを市内全域で展開していく、各分野での課題解決に向けて、活動の評価、検証を行いながら、継続して事故やけがの予防活動に取り組みます。

セーフコミュニティの認証取得はゴールではありません。世界基準の安全性向上のための仕組みが整ったことの証しで、さらなる安全性向上に向けたスタートです。

これからも本市が目指す「生涯にわたって安心安全に暮らせるまちづくり」を大きく前進させていきます。



本田 洋一さん
(平川小学校校長)

セーフコミュニティの「学校の安全」の取り組みによって、子どもたちが主体的にけがや事故の防止を考えながら行動できるようになったと感じています。

さらに、保護者や地域の方々も地域内での子どもたちの安全に対して積極的に協力いただけるようになりました。子どもたちを中心とした取り組みをきっかけに、平川地域がさらに安心安全なまちになることを期待しています。